

登録番号	プロトコール名			
C85-138A	濾胞性リンパ腫 オビヌツズマブ維持療法			
診療科	血液内科	1クールの日数	56日	
審査日	2019年8月26日	所要時間	119分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	濾胞性リンパ腫	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他( )			
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 術前補助 <input type="checkbox"/> その他( )			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与法	投与日(d1、d8等)
1	オビヌツズマブ(ガザイバ)	1000 mg/body	div.	d1
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 )			
ガイドライン文献名	Marcus R, et al.: N Engl J Med: 377, 1331 (2017)			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	G-CHOP療法、G-Benda療法の維持療法。最大2年間。 【増減量基準】なし			

プロトコールに関する解説
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>

# がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
濾胞性リンパ腫 オビヌツズマブ維持療法		56日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	① 生食50mL + デキサート6.6mg ② 生食50mL(フラッシュ用) ③ <b>ガザイバ</b> 1000mg + 生食210mL(計 250 mL) <1サイクル目の投与でGrade3以上のinfusion reactionが 発現しなかった場合> 25mL/hで開始し、30分後に225mL/hに増量 (30分後の投与速度は最大225mL/hまでの範囲で変更可)。 0.2又は0.22 μ mのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠と レスタミン錠10mg5錠内服 ④ 生食50mL(フラッシュ用)	div. div. div.	15分 5分 約94分
プロトコール 適応時 表示コメント	G-CHOP療法、G-Benda療法の維持療法。最大2年間。 ガザイバ点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄)		